

だいどころかくめい

とうじょう

台所革命！カマドの登場

こふんじだい なかごろ いえ なか つく
古墳時代の中頃から、カマドが家の中に作
られるようになりました。それまで煮炊きを
おこな ばしょ ろ ゆか たい
行う場所であった炉が、床に作られたのに対
して、カマドは建物の壁際に粘土や石などで
作られました。

カマドは炉に比べて熱が逃げにくく、効率
よく煮炊きをすることができました。カマド

の登場によって、水を
は かも こめ い
張った甕と米を入れた
こしき かせ ひ
甕を重ねて火にかけ、
すいじょうき む ちょうり
水蒸気で米を蒸す調理
ほうほう ていちゃく
方法が定着していきま
した。



たき口

